

# グループの重要課題 (マテリアリティ)

## “人と地球”の健康のために、持続的な未来のために

日清食品グループが果たすべき責任、取り組むべきサステナビリティ課題は、気候変動、水資源に関することから、人の健康、ダイバーシティまで多岐にわたり、それぞれが複雑に絡み合っています。そのなかで事業に直結し、中長期的にリスクまたは機会となりうるテーマを国際ガイドラインや外部有識者とのダイアログを通じて重要課題(マテリアリティ)と特定しています。

### 世界が抱える環境・社会課題

生物多様性の損失

#### 気候変動

自然災害の多発

#### 水資源の管理

少子高齢化

オーバーカロリー  
隠れ栄養失調

フードロス

飢餓・食糧不足

#### サーキュラー エコノミー

サイバー攻撃

児童・強制労働

#### ダイバーシティ& インクルージョン

### マテリアリティ特定プロセス ≫ P63

#### Step1

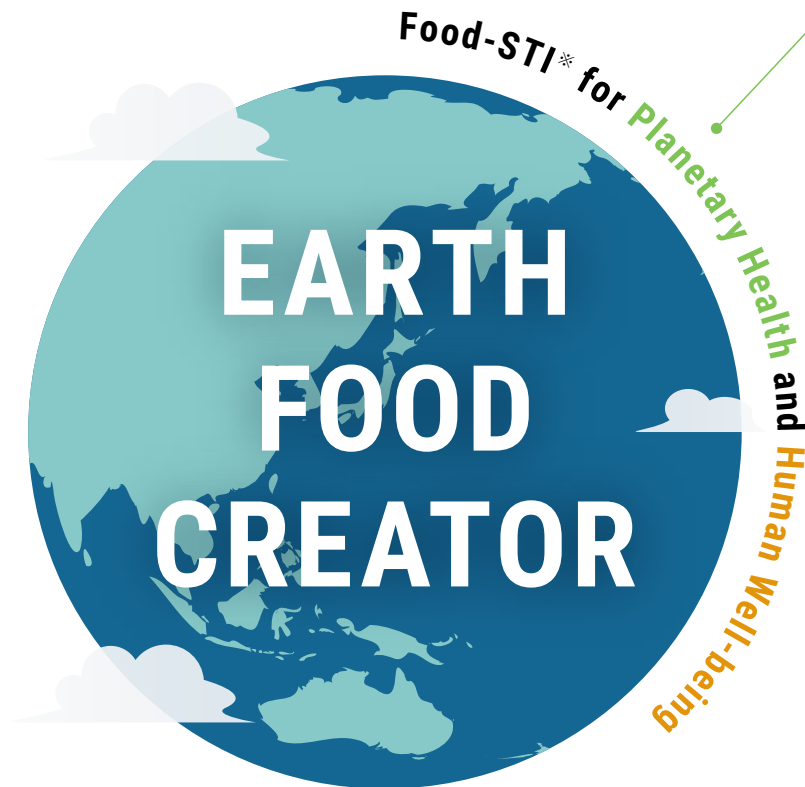
ステークホルダーが日清食品グループに期待する項目を選出

#### Step2

日清食品グループの事業に及ぼす影響度を測定

#### Step3

日清食品グループが重点的に取り組むべき重要テーマを特定



\* STI: Science, Technology and Innovation

### 日清食品グループの重要課題(マテリアリティ)

#### Planetary Health

重要課題	グループの取り組み	コミットメント
気候変動の緩和と適応	省エネ／再エネ調達 バイオマスECOカップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>CO<sub>2</sub>排出削減率</li> <li>・Scope1,2:42%減</li> <li>・Scope3 :25%減</li> </ul>
持続可能な調達	認証制度活用 植物性代替肉／ 培養肉の開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能なパーム油 調達比率100%</li> <li>・植物性たんぱく質の 国内使用量年間1,000トン</li> </ul>

#### Human Well-being

重要課題	グループの取り組み	コミットメント
健康と栄養改善への貢献	最適化栄養食	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存事業コア営業利益の 5～10%投資</li> </ul>
創造人材の育成と活用	ダイバーシティ 推進各種研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性管理職比率10%以上</li> <li>・年間総労働時間削減</li> </ul>